

フリークライミングというスポーツを、知っていますか？時々テレビでも紹介しているが、壁に付けられた石をつかみながら登る……アレです。アレにはまってしまった。フリーというからには、手と足だけを頼りに、壁を登るわけです。とはいえ、一応安全のためロープは付けている。

さて、このフリークライミング。力自慢の屈強な男どもの遊びだと思っていないかな？ 実は私もそう思っていた。ところが、行ってびっくり。女性のなんと多いこと。それも、何とも華奢（きゃしゃ）な女の人の姿に、また、びっくり。腕なんて、「おいおい、それじゃ折れちゃうよ」と注意したいほど、細い。きけば、懸垂もあまり出来ないという。

「え、懸垂出来なくて、登れるんですかあ？」と疑問を抱いた、あなた！あなたの感覚は正しい。しかし、これが、登れるんだなあ。信じられないでしょ。私もいまだに信じられない。登る途中には、オーバーハングといって、壁が手前にそっくり返っている場所がある。さらに、完全に天井をつたう所がある。彼女達はそんな所も、スイスイと進むのだ。

「懸垂出来なくて？」

「ええ、懸垂出来なくて！」

ウソだと思うなら、今度のぞきに行つてごらんなさい。大きな都

市ならクライミングジムというものがありますから。

その時、あなたはもつと驚くでしょう。「こ、こんなおじいちゃんに登っている！」「あのおばあちゃん、失礼、女性はいつたいいくつなんだろう？」「ボク、何歳？」。このスポーツ、老若男女、幅広く楽しんでいるのだ。おじいちゃんに登りを、6歳のボクが、応援していたりする。その時の声援の言葉が、「ガンバ！」「おじいちゃん！ ガンバ！」

（ふふ、孫にはまだ負けんて）

【朝日新聞・マリオン】

2006年10月11日掲載